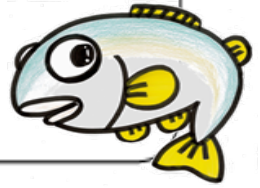




# 第4回学校運営協議会

学校教育目標「夢に向かい 共に学び 行動する子」



令和6年2月9日(金) 13:30~15:30

- 1 会長挨拶
  
- 2 校長挨拶
  
- 3 議長の選出
  
- 4 前回の会議録確認 (CS ディレクター)
  
- 5 熟議 13:45~
  - (1) 学校関係者評価について (教頭)
  - (2) 次年度の学校運営の基本方針について (校長)
  - (3) 学校運営協議会委員の自己評価について (会長)
  - (4) 夢育やらまいかCS 加算分の報告 (教頭)
  
- 6 連絡

令和5年度 第3回 下阿多古小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年11月17日（金） 13時30分から15時40分まで
- 2 開催場所 下阿多古小学校 会議室
- 3 出席委員 出野 光雄、野澤 講一、大石 欽也、坪井 道男、新井 恵美子、大柴 智恵、  
内山 達也、大石 敏也、武田 あゆみ
- 4 欠席委員 市川 紀史
- 5 学 校 大石 浩史（校長）、藤岡 政哉（教頭）、沖 みどり（CSディレクター）
- 6 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 沖 みどり
- 9 議長の選出

司会の藤岡教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、武田委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 前回の会議録確認
- (2) 小規模校のICT活用における子供たちの支援について

11 会議記録

司会から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 前回の会議録確認

議長の指示により、CSディレクターから、別紙資料に基づき第2回下阿多古小学校運営協議会会議録について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

(2) 小規模校のICT活用における子供たちの支援について

議長の指示により、前回協議会での熟議を踏まえ、各々タブレットを使い、ICT活用による授業の体験を行った。

- ① 3グループに分かれ、各教室へ移動し、「Meet」を体験する。
- ② 「Jamboard」にて、付箋による書き込みの練習をする。
- ③ 実践として、子供たちのICT活用についての意見を「Jamboard」へ書き込む。

議長の指示により、「Jamboard」上に書き込んだ内容を発表した。

- ・ 伝承しなければいけない米づくりの一連の流れや、阿多古の話など、資料として残していくべきだと思う。（大石副会長）

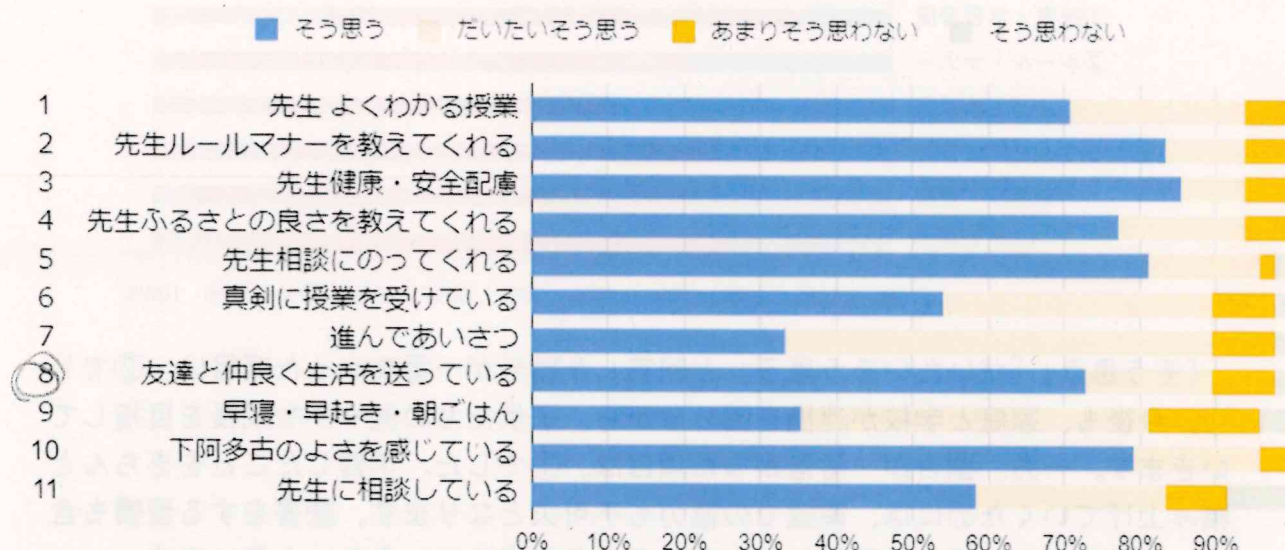
- ・ サポート側の研修を行う等、体制づくりが必要なのではないか。(大業委員)
- ・ 上級生が下級生へ指導する時間を設けてはどうかと思う。(出野委員)
- ・ 体育などの授業の動画を撮影し、専門家の助言を得てはどうか。(内山委員)
- ・ 間違えてはいけないのは、子供に対するサポートではなく、教員に対するサポートであるということだと思う。(野澤会長)

#### その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和6年2月9日(金)午後1時30分から会議室で開催する旨の報告があった。

## < R5年度 児童・保護者アンケート集計 >

### 全校児童 学校評価集計



どの項目においても、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合が80%を超えています。特に割合が高かったのは、⑩の項目です。今年度は、本校創立150周年という節目の年でもあり、今まで以上に地域人材を積極的に活用することで、これまで自分たちが知らなかった下阿多古地区の良さに気付くことができたと考えます。また、「あゆっ子いきいき発表会」に向けて準備を進めていく際に、自分たちが地域の方々に支えられていることや、自然豊かな環境の中で生活していることを改めて実感することができました。次年度以降も、地域の方々との連携を大切にしていきたいと、子供たちにとって、さらに自慢できる学校作りを目指していきたいと思えます。

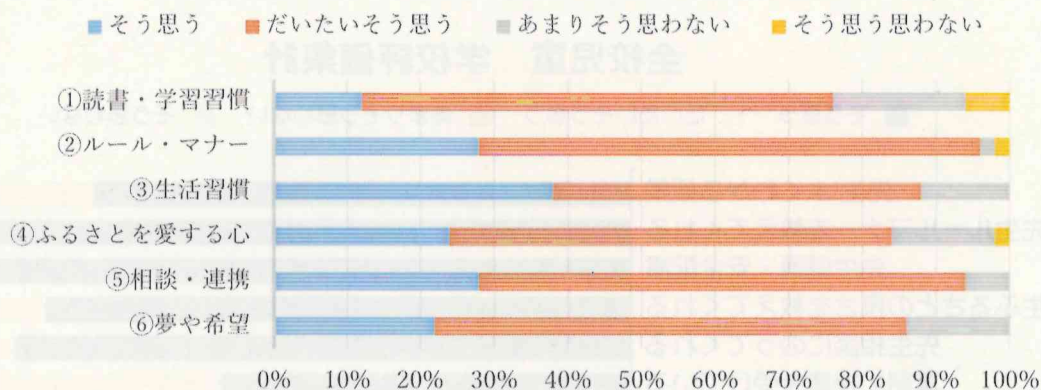
①から⑤の項目から、子供たちと職員との関係が良好であることが結果から推測されます。小規模校という特性から、学級の垣根を越えて、全職員で一人一人の児童を見守っていく意識をもって、日々指導に努めています。子供たちが気軽に相談できる雰囲気作りを、今後も大切にしていきたいと考えます。

今年度新たに追加した⑧の項目においては、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合は約90%となっています。本校では、定期的にアンケートも行いながら、一人一人が楽しく学校生活を送ることができるように努めています。

⑨の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合は、約80%となっていますが、学年が上がるにつれて、その割合が低くなってきている傾向にあります。さらに、全11項目に対して、「そう思う」と回答した割合が一番低かったのが⑦の項目でありました。⑨の項目と合わせて、基本的な生活習慣について指導していく必要があります。そのためにも、学校としては、毎月位置付けられている「健康安全の日」に、自分自身の生活習慣についてきちんと振り返りができるように指導していきたいと思えます。この点については、家庭の協力も不可欠となってくるため、家庭に配布する学年便りや保健便り等で呼び掛けたり、懇談会の場でも話題にしたりしていきたいと思えます。より良い生活習慣を身に付けることで、心にも余裕が生まれ、楽しく学校に通うことができたり、集中して学習にも取り組んだりすることができる姿を目指していきます。

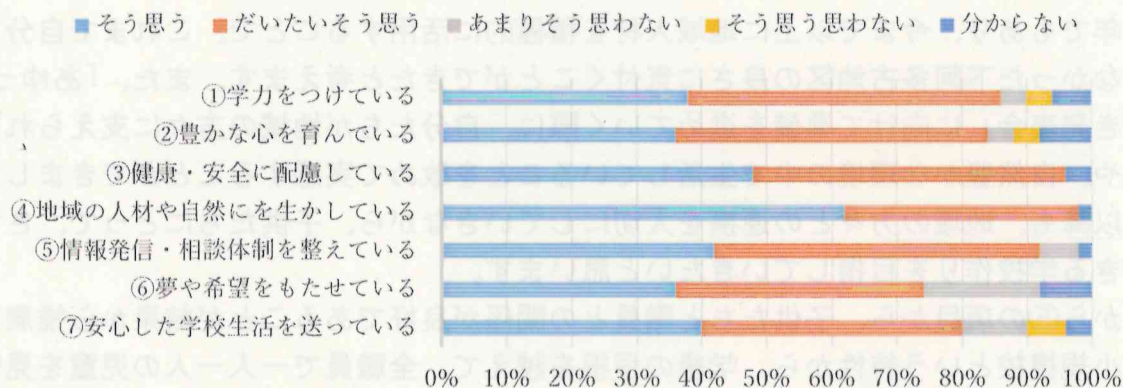


## 保護者（家庭での働き掛け）



「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合が一番高かった項目は、②でした。今後も、家庭と学校が連携を図りながら、子供たちの健やかな成長を目指していきます。一方、割合が一番低かった項目は、①でした。学習したことをきちんと積み上げていくためには、家庭での協力も不可欠となります。読書をする習慣も含め、学習に対する構えを理解してもらえるように努めていきたいと思ひます。

## 保護者（学校での働き掛け）



「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合が90%を超えている項目が③④⑤の3つでありました。④については、児童が回答した⑩の項目に通じるものがあります。改めて地域に根ざした教育活動を進めることができていることを再確認することができました。一方、割合が一番低かった項目は、⑥でした。キャリア教育との関連をさらに意識していきながら、子供たちが夢や希望をもって活動することができるように支援していきたいと思ひます。

### 来年度教育計画の改善点

- 職員が子供たちと積極的に関わったり、定期的に行う生活アンケートを有効的に活用したりしていきながら、誰もが安心して学校に通うことができる環境作りに努めていきます。
- 懇談会や各種便りを通して、家庭学習の習慣化や早寝・早起き・朝ごはんの効果や栄養バランスの大切さを啓発していきます。
- 子供たちが、学びの意義を感じたり将来への希望につなげたりできるようなキャリア教育を、子供たちの実態に応じて進めていきます。

# 令和6年度 下阿多古小学校グランドデザイン

- ◆国の施策
  - ・「生きる力」の育成 ・社会に開かれた教育課程
- ◆はままつの教育
  - ・自分らしさを大切にすること
  - ・夢と希望を持ち続ける子供
  - ・これからの社会を生き抜くための資質や能力を育む子供
- ◆清竜中学校区
  - ・自分の良さに気づき、他者との関わりを大切に、夢に向かって努力する子

- ◆校区の実態
  - 阿多古川を中心とした豊かな自然に恵まれている。
  - 温かな地域との関わりを通して、学校や子供たちは、見守られ、支えられている。
- ◆児童の実態
  - 明るく素直で学年関係なく接する。
  - 真面目でやるべきことを確実にやり遂げようとする。
  - ▲自分で判断し行動したり、粘り強く取り組んだりする。
  - ▲多様な考えに触れ、新しいことを創造し、挑戦する。

校訓 「強く 正しく 朗らかに」

学校教育目標 ふるさとを愛し 夢に向かい 共に学び 行動する子

教育目標具現のための3つの柱(キャリア教育の推進)

将来設計・選択の力  
(未来のわたし)

他者に働き掛ける力・  
コミュニケーション力  
(大切な仲間)

計画・立案・実行・評価の力  
(計画と実行)

< 確かな学力 >

- 「自分の考えをもち進んで伝え合う子の育成」を目指した授業研修
  - ・主体的・対話的で深い学び
  - ・個別最適な学びと協働的な学び
- ICT機器の活用促進と情報活用能力の育成 (情報活用の実践力・情報モラル)
- 複式授業の学習スタイルをモデルとした学び方の習得

< 豊かな心 >

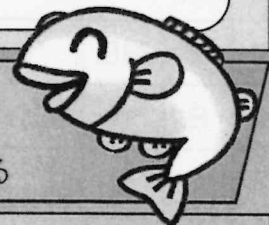
- 「今、何をすべきか」を考え、行動する子を育む機会や場の設定
  - ・気づいて行動
  - ・ソーシャルスキル
  - ・動と静の切り替え
  - ・聴く姿勢
- 多様性にふれ、他者を尊重し、自分の可能性を広げる場の設定
  - ・異学年交流
  - ・連合教育
  - ・自分から行う気持ちのよい挨拶
  - ・「ありがとう」と素直に言える
- 自分のよさを知り、なりたい自分を思い描く場の設定

< 強い心と健やかな体 >

- 個に応じた自力解決と挑戦の場の設定及び、個に寄り添った支援
  - ・「分かった」「できた」の積み上げ
  - ・「分からない」と言える
  - ・「やってみよう」と思える
- 体力や技能の向上に向け、めあてを持って運動に取り組むことができる場の工夫
- 心身の健康や安全に対する意識を高め、実践につなげる機会の設定

● ふるさと下阿多古を愛する心の醸成

- 地域の人材や環境を活用した教育活動の推進と、その価値づけ
- 地域の「ひと」「もの」「こと」との関わりへの気づき、大切に思い、感謝する



安定した学校経営の基盤

- ◆ 児童・保護者・教職員が安心できる学校風土づくり(温かい関わり、いじめを生まない、見逃さない)
- ◆ 保護者や地域から信頼される学校の推進(学校HP・ブログ、学校だより、教育相談体制、CS)
- ◆ 家庭との連携による学習・生活習慣の確立(家庭学習、保健だより「早寝、早起き、朝ごはん」の啓発)
- ◆ 児童の健康と安全を守る環境づくりと危機管理体制の構築(施設設備、防犯・防災、いじめ防止)
- ◆ 教職員の資質向上と心身の健康増進の両立(学び続ける教師 実効性のある働き方改革)

「また明日。」と、みんなが思える学校 ～ ウェルビーイングの実現 ～



# 令和6年度の主な学校行事（R6. 2. 9現在の予定）

浜松市立下阿多古小学校

## <1学期>

月	日	曜日	学校行事等
4	4	木	新任式・始業式
	5	金	入学式
	19	金	参観会・懇談会 PTA総会
5	1	水	校外学習（予備日5/2）
	10	金	第1回学校運営協議会
	25	土	幼小合同運動会
6	4	火	四小連合（3, 4年）
	6	木	四小ポート教室（6年）
	12	水	いのちについて考える日
	19	水	四小自然教室（5年）
	20	木	四小自然教室（5年）
	25	火	四小連合（1, 2年）
	28	金	参観会・懇談会
7	4	木	第2回学校運営協議会
	18	木	終業式
	19	金	部会水泳記録会（予備日7/22）

## <2学期>

月	日	曜日	学校行事等
8	30	金	始業式
9	11	水	いのちについて考える日
	26	木	三小連合同授業
10	3	木	部会陸上記録会（予備日10/4）
10	11	金	天竜龍山地区 音楽科研究発表会（1～4年）
	16	水	修学旅行（6年）
	17	木	修学旅行（6年）
	19	土	浜松市陸上記録会
11	8	金	参観会・懇談会
	15	金	第3回学校運営協議会
	26	火	清竜中入学説明会
12	5	木	持久走記録会
	23	月	終業式

## 米作りに関わる主な活動（仮）

月	日	曜日	活 動
5	16	木	種まき
6	14	金	田植え
9	27	金	すがい作り
10	8	火	はざ作り
	15	火	稲刈り
11	5	火	脱穀
	13	水	もみすり
			精米

## <3学期>

月	日	曜日	学校行事等
1	8	水	始業式
2	1	土	あゆっ子いきいき発表会 懇談会
	4	火	入学説明会
	7	金	第4回学校運営協議会
3	14	金	修了式
	17	月	卒業証書授与式

支援事業（2023）	担当者・講師
<b>■あゆっ米プロジェクト</b> ・育苗（種まき） 田植え すがい作り 稲刈り 脱穀 もみすり 精米	青葉会・市川敏夫さん
<b>■クラブ活動</b> ・グラウンドゴルフ 竹細工 手芸	青葉会・池上正巳さん 手芸は職員が担当
<b>■その他支援事業</b> ・桃狩り 梨狩り ・稚アユの放流 ・ホットメール作戦（年賀状） ・合唱指導 ピアノ伴奏 ・下阿多古の歴史 ・そろばん指導 ・昔の遊び ・大型紙芝居 ・読み聞かせ ・農業見学（市川さん工場） ・工場見学（松野材木店） ・まち探検 ・まち探検 ・よりよい未来のために（サウナ天竜・ヴィラ阿多古・あたご商店・タマガレージカフェ） ・花壇の水やり（夏休み） ・昔の道具見学	鈴木堆保さん 阿多古川漁業組合 地区社会福祉協議会 野澤須美子さん 岡田あすかさん 大石欽也さん 全国珠算教育連盟 青葉会 天竜お話の会 下阿多古母親クラブ 市川敏夫さん 松野智仁さん 下阿多古ふれあいセンター 宗建寺 安藤さん（上野） <small>鈴木達也さん・森敬之さん・大石善正さん・渡部三千穂さん</small> 加藤悦子さん・武田こはるさん 林さん

薬学講座 移動環境教室 バーチャルUD講座 こども音楽鑑賞教室 ボート体験 校外学習 ストレスマネジメント講座  
 ストーリーテリング 下水道教室 杉の子の日 交通安全リーダーと語る会 観劇教室 四小連合同授業